

# 東風 HARUKAZE

平成 3 1 年 4 月 1 8 日発行

二十四節気(にじゅうしせっき)は半月毎の季節の変化を表していますが、これをさらに約5日おきに分けて、気象の動きや動植物の変化を知らせるのが七十二候(しちじゅうにこう)です。

その第一候が「東風 解冻(はるかぜ こおりをとく)」で、春の風が川や湖の氷を解かし始める頃を表します。「東風」は春風を表す代名詞で、春を告げる季語としても使われてきました。菅原道真の「東風(こち)吹かば匂ひおこせよ 梅の花 主なしとて 春を忘るな」(拾遺和歌集)は、あまりにも有名な歌ですね。

「令和」ゆかりの大宰府とも関係の深い菅原道真ですが、新しい季節の始まり、新しい時代の始まりという意味を込めてコミュニティスクール(CS)通信のタイトルといたしました。地域の皆さま、保護者の皆さまに、毎月2回生徒の活動の様子、皆さまと共に育んでいきたい生徒の姿などを発信をさせていただきます。

ふれあいの丘に建つ新宮東中学校は、地域、保護者の皆さまとのふれあいを大切にする中学校です。子どもを育てるパートナーとして、活気溢れる生徒の様子を、いつでも見学に来られてください。

## 《学校建設のコンセプト》

地域の「安全・安心の拠点」「防災・減災の拠点」「生涯学習・生涯スポーツの拠点」となる

## 《教育理念》

生徒、地域、保護者、教職員が「共に学ぶ中学校」「共に築く中学校」「共に鍛える中学校」

## 《教育目標》

誠実さとしなやかさを兼ね備え、

世代や立場を超えた人々と共に、未来に輝く郷土“新宮”を創造する生徒

4月10日第1回入学式が行われ、143名の元気な1年生が入学し、405名全員が揃いました。



新宮東中学校の昇降口を抜けると、朝日に向かって駆け上がることができるような大きな階段があります。私たち一年生は、自然の大きなエネルギーを受け取り、美しい校舎と素晴らしい仲間を大切に、今日から始まる中学校での日々を過ごしていきます。立花山の緑をスクールカラー、胸元には町のシンボルである可憐なみかんの花、新宮海岸に打ち寄せる穏やかな波をモチーフとした校章を胸に、今日のこの日の気持ちを大切にして、中学校での生活を全力で頑張ります。

新入生代表 石川 杏樹

(はるかぜ返信欄 (担任にご提出ください。必ず校長まで届きます。封筒に入れていただいてもかまいません。))

生徒氏名

( 年 組) 保護者氏名